オレンジ通信

Vol.34

2021年7月発行

佐々木（ささき）まゆみ市議会活動レポート

発行元／仙台市議会公明党市議団　仙台市議会議員佐々木まゆみ
仙台市宮城野区幸町2-21-11 TEL022-707-7462 メールアドレス sasaki@sendai-komei.jp

仙台市役所にPCR検査センター設置を推進！

第二回定例会が6月23日、終了しました。コロナ収束に向けて、65才以上の個別接種・集団接種・大規模接種や職域接種等、ワクチン接種が進行中です。6月18日からは年齢階層別(16才までの約66万人の方々)に順次接種券進行中の送付が行われております。

国が定める優先接種対象者(基礎疾患がある方・高齢者施設等従事者)に加え、子供や高齢者の方々の更なる感染リスクを低減するために、本市独自の優先対象者も定めました(下記参照)。

優先対象者

保育施設(保育所、認定こども園、小規模保育事業等)、幼稚園の従事者。
児童館・児童クラブ、その他児童福祉施設等の従事者。
小中学校、中等教育学校、特別支援学校、高等学校の教職員。
60歳から64歳の方。介護サービス・障害福祉サービスの従事者民生委員児童委員、救護施設等の従事者、児童養護施設等の従事者、児童相談所の従事者。

今般、新型コロナウイルス感染症に係る市民等の不安解消を図り、PCR検査センター運営の実績がある株式会社木下グループと連携し、7月15日から本庁舎の1階で開設しております。費用も仙台市民1,900円(税込)などと低廉となっております。

今回の開設については、公明党宮城県本部代表、庄子前県会議員の橋渡しにより実現し、郡市長からも7月6日の記者会見にてその旨の発言がありました。自治体の本庁舎を使い民間との連携で実施する検査事業は、初めての試みです。

ワクチン接種が進んでいる中、接種を希望されない方や健康上の理由で接種を止められている方等が、安価に検査を受けられる環境づくりは大変重要です。

オリンピック・パラリンピックの開催、あるいは夏休みの帰省など人流の増加が予想される中、感染症の早期発見や感染再拡大の早期把握にもつながるこのPCR検査センターをぜひ多くの方々にご利用いただきますようPRに努めてまいります。

仙台市議会議員 佐々木まゆみ

木下グループ 新型コロナPCR検査センター仙台店

会場：仙台市役所本庁舎１階(旧ギャラリーホール)
時間：平日 8:30～17:30　受付は17:00まで(要事前予約)
検査費用：仙台市民1,900円(税込)、仙台市以外の宮城県民2,100円(税込)

予約はネットで受付 https://covid-kensa.com/sendai.html

第10次 予算要望提出(5月12日)
円滑なワクチン接種を求め、緊急要望書を提出。ナビダイヤルの中止、訪問接種、住民票所在地以外での接種、民間企業と連携し低料金でPCR検査が受けれる検査センターの開設、理美容や文化芸術関連等の事業組合を対象としたクーポン支援事業の創設など、21項目について要望しました。

仙台市は先ごろ、新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐ「新しい生活様式」に対応した障がい者への配慮などをまとめたリーフレットを作成し、図書館や地下鉄の全駅に置いたほか、民生委員にも配布しています。

リーフレットには、視覚や聴覚、精神など障がいの種別に応じた配慮や支援方法をイラスト付きで説明。また、切り取ると「感覚過敏のためマスクを着用できません」「マスクで口元が見えず、情報が伝わりにくいことがあります」――など障がい者の意思表示を支援するカードとなる工夫もされています。昨年9月定例会で、コロナ禍における障がい者への配慮の手引きの作成と普及を提案しました。

障がい者への配慮 手引きに

佐々木真由美・仙台市議

新聞掲載(7月3日)

大規模接種会場 視察(5月22日)
5月24日からスタートした、大規模接種会場となる、仙台駅東口のヨドバシカメラを視察。

PCR検査センター(仙台市役所1階)

意見交換会 (6月9日)
東日本大震災から10年の節目を迎えた本年。「人間の復興」「心の復興」を成し遂げるまで寄り添い続けていくことを目的に「人間の復興10年委員会」を県本部に設置。
事務局次長として宮城県を担当する国会議員とオンラインで、今の課題等について意見交換を行いました。

大規模接種 スムーズに

党宮城県本部

仙台駅前の会場で運営確認

大規模接種会場で担当者（左端）から説明を受ける庄子氏（右隣）ら＝22日 仙台市

公明党宮城県本部（代表＝庄子賢一県議）は22日、JR仙台駅前の商業ビルに設置された新型コロナウイルスワクチンの大規模接種会場を視察し、担当者から説明を受けた。

この日、同会場では24日からの大規模接種を前にリハーサルを実施。県疾病・感染症対策課の高橋寿久課長は「予診票の記入から接種後まで、円滑に確認できた」と説明。その上で「仙台市の高齢者への接種にめどが付き次第、他の市町村も対象に加える」と述べた。

会場は県と仙台市、東北大学が協力して運営。同大学の医師最大15人が派遣され、県医師会や県看護協会などの協力も得て対応に当たる。平日と土日で実施し、1日で最大2100回、1カ月で同6万3000回の接種を見込んでいる。

視察後、庄子代表は「接種が迅速に進むよう、体制の強化を後押ししていきたい」と語った。

佐々木まゆみプロフィール

昭和39年7月仙台市生まれ。平成23年仙台市議会議員初当選（宮城野区選挙区）。現在3期目。
【仙台市議会】健康福祉委員会委員長、人生100年時代調査特別委員会委員

Facebook

日々の活動はフェイスブックを御覧ください。